

公表日

2026年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 網島教室

保護者等数(児童数) 44名

回収数 28件(割合63%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25		2	1		動線を確保すると共に、職員配置を工夫し、こどもが活動しやすくなるよう配慮し、実施していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1		1		こどもに対し適切に職員を配置しているがよりこどもに対して働きかけができるよう配慮し、実施していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	3		4		事業所が2階にあり、階段を上るため歩行が難しいこどもにとっては配慮が必要。またトイレが大人と同じ高さのため、今後台座などを作り配慮し実施していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	3			出入口の靴を履くマットが衛生的に見えない。	マットは1か月に一度交換し、毎日掃除機をかけているが、後はゴミなどを見つけた場合、その都度処理し、清潔に保てるよう配慮し、実施していく。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2				指導案に基づき、個別・専門に於いて支援を行っている。今後はより具体的に支援方法を伝えるなどし保護者との連携を図り理解につなげていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					引き続きプログラム内容を工夫し支援につなげていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					引き続きこども、保護者のニーズや課題について分析し、関係職員で話し合い支援計画を作成する。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			2		今後は放課後等デイサービスの提供すべき支援について保護者へ分かりやすく説明し、具体的な支援内容との理解につながるよう配慮し実施していく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28					引き続き放課後等サービス計画に沿った支援理解につなげていく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28				食育がよい。	引き続きプログラム内容をスタッフで検討し工夫していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3	3	13		地域児童との交流が未実施である。必要に応じて検討していく。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					引き続き説明を丁寧に行い理解につなげていく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1				引き続き説明を丁寧に行い理解につなげていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	4	8	研修会は必要としていません。	ご家族に対して家族支援につながる研修会等について今後検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	26	2				今後はより理解につながるよう保護者との連携を図り共通理解を深めていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	2		1	いつも助言いただけて助かっています。	今後は保護者との連携を図り、必要に応じて面談等を行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1				引き続き保護者との連携を図り理解につなげていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	8	9	特に希望していません。 特に希望していない、なくていい。	今後は父母会等の活動について、交流の機会が作れるようスタッフで検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27		1			今後はこどもや家族から相談の申し入れ、対応の体制が整備されている事を伝え、理解を広げていく。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28				引き続き子ども、保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされるよう配慮し、実施していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26			1	必要なし。毎月子どもの写真を見ながら「この子が〇〇やってた」と話している。家族で我が子を探している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1			引き続き個人情報の取り扱いに十分に留意していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	3		1	今後は各マニュアルが策定されていることについて保護者に対し周知するとともにプログラムで訓練を行っている事への理解を深めていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26			2	今後はより防災センターでの訓練等を行った場合、保護者へ周知し理解が深まるよう図っていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			2	今後は安全が確保されている事を周知し、理解を広げていかれるよう検討、実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	27	1			引き続き事故が発生した場合、状況説明を密に行い、保護者との連携を図っていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1			毎日楽しみに通っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3	1		本当に楽しんでいます。利用者で一番、休日の「おでかけ」にワクワクしている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			お忙しい中いつも相談に乗っていただきありがとうございます。
							より支援のご理解を賜れるよう検討を重ね実施していく。

公表日

2026 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 網島教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			子ども同士のパーソナルスペースが保てるよう手のひら一つ分など、可視化して伝え配慮を行っている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	日によって職員配置が行き届きにくい事がある。	環境整備や事前準備を行い改善に努める。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		おもちゃやカバンの入れ方などを写真で示し分かりやすくしている。	より配慮できるようチームで改善を図っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		プログラムの中でも掃除を心掛けている。	より気持ちよく過ごすことができるよう努力していく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		今後も継続していく。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		意識的に取り組んでいる。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		いただいた指摘を職員で話し合い、改善内容を文章化して実践するように努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		意識的に取り組んでいる。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		他教室との交換支援を行っている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的に内部研修を実施し、外部研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページに公開している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		カンファレンスを随時行い、計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		カンファレンスを随時行い、計画を作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		カンファレンスを随時行っている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		カンファレンスを随時行い、計画を作成している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		担当者を決め、担当者は他の職員と相談し立案するようにしている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		プログラム案を複数の職員に立案してもらい、多くの発案の中から選択している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼、昼礼を活用して毎日職員全体に確認、周知している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			帰りの送迎ルートを考慮し、時間を設定して職員間で共有できるように努めていく。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	業務日誌を活用し、検証および改善につながるよう記録をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	利用者の状況を把握し、必要に応じて面談を行って保護者との意思疎通を図り、見直しを行っている。	見直しの変更内容を職員全体に共有し、よりよい支援に繋げている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ て支援を行っているか。	4	今後も継続していく。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	4	今後も継続していく。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	管理者、児発管や担当職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	今後も継続していく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校 時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	4	送迎時、児童の引き渡しを行う際に、家庭や学校での様子また事業所での様子な ど情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達 支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	3	該当児童無し	まだ学校を卒業している利用者がいないた め実施していないが、今後状況に合わせて 行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	地域の研修などがあった場合可能な限り参 加できるよう検討し、実施できるよう環境 を整える。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動 する機会があるか。	1	2	今後、地域との交流を検討し、交流する機 会を設けられるように努めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	港北区自立支援協議会に参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	4	送迎時や電話相談、面談開催など積極的 に意思疎通を図るよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。	3		今後は家族等が参加できるよう情報提供が 行えるよう努めていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	4	契約時に丁寧に説明している。それ以後 の質問にも真摯に対応するよう努めてい る。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の 意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	担当職員を決め、真摯に対応するよう心 がけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	利用者の状況を把握し、必要に応じて面 談を行って保護者との意思疎通を図って いる。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や 必要な助言と支援を行っているか。	3	担当職員を決め、真摯に対応するよう心 がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		今後は希望者を募り保護者同士で交流で きる機会が作れるよう努力する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	4	迅速、真摯に対応するよう心がけてい る。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信しているか。	4	会報誌を毎月発行している。 定期的にお便りも配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	職員に周知徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	4	送迎時や連絡帳の活用を通して保護者 との意思疎通が有効に行えるようにしてい る。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営 を図っているか。	3		今後は地域との連携を図り、地域に開かれ た運営が行えるよう検討する。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			定期的なお便りなどを配布して周知していく。 職員全体にマニュアル研修等を行い周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		定期的に災害に応じた訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		1	引き続きこどもの状況を保護者と状況を確認し、従業員に周知する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		1	引き続きアレルギーとうの指示書がある事を確認し従業員に周知する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			定期的に災害に応じた訓練を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			送迎時や電話相談、面談開催など積極的に意思疎通を図るよう努めている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			共有ファイルを活用し、朝礼、昼礼にて職員への報告を行っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			動画視聴や職員全体への研修を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			必要に応じて契約時に丁寧に説明している。